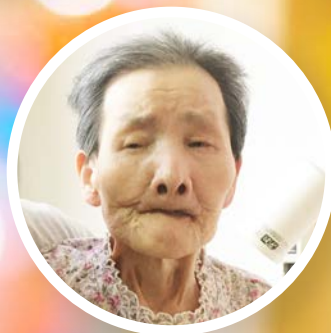


# のぞみ

2023 夏号  
vol.14

contents

- 崇仁すくすくセンターとは ● 特養個室化について ● 活動レポート…職員交流会
- のぞみの園は働きやすい職場 ● 新人紹介 ● 介護予防 ● のぞみ食堂



社会福祉法人

カトリック京都司教区 カリタス会



### 崇仁デイサービスうるおい

2021年7月にデイサービス利用者様と、地域の花で押し花づくりをし、その後押し木をデイサービスフロアで見守るようになりました。崇仁地域内外の利用者様と職員で「見守り日誌」を作成し、押し木を身近に感じられるようになりました。

利用者様に、実際に押し木に触れて頂きながら、樹木があった土地のお話を聞く「押し木を囲む会」は、現在に至るまで随時開催しています。「遅刻して学校に入れてもらえない時、近所のおばちゃんと一緒に先生に謝ってくれて教室に入れてくれた」等、小学校の頃のお話などお聞きし、大切な記録として報告展や報告集にて発信しています。

2022年には「大きな旗づくり」に取り組みました。デイサービスの利用者様は、押し木モチーフのちぎり絵や、旗の周りを囲む房飾りの作成を行い、また別の作業では、自宅に持ち帰って布を編み、持ちよって知人と共有するなど、新たな結びつきができて生きがいのある生活や、社会との繋がりになっていると感じます。



### 高齢サポート下京・東部

下京・東部地域包括支援センターが水曜日に行うおひ館前で実施しているラジ操の時間は15分。終わりの時間はあつという間にやってきます。「また来週。私らもう歳やし、いつ何があってもわからんな」と寂しそうに帰られていく姿がありました。その皆様と、やりがいや生きがいに繋がる、楽しい時間を作れないか。手芸や物作りが得意な方もたくさんいらっしやる中で始まったのが「大きな旗づくり」です。

活動の時間は1時間。皆様の集中力とアイデア力が凄まじく、姿は職人そのもの。楽しくおしゃべりしながら、でも手は止まりません。「来週休まなあかんけど頼むな」と責任感が芽生え、「完成が楽しみやな」と期待に胸が膨らみ、気がつけばあつという間に大きな旗が完成していました。その後、崇仁児童館の子どもたちとお披露目会を実施しました。皆様と一緒に感動を分かち合い、素敵な時間となりました。世代を超えて「私がこれ作った」それを私が縫い付けたんや」と話されていて、芸術の力で人と人が温かく繋がっていくことができるのだと

### 崇仁すくすくセンター (押し木プロジェクト)とは・

2020年春、アーティストの山本麻紀子氏が、現在京都市立芸術大学の建設が進んでいる土地に存在していた樹木を採取し、押し木として命をつなげ、地域住民等多くの方と共にその成長を見守ることで、土地の記憶や物語、また人の繋がりを継承していくことを目的として始まった10年プロジェクトである。

この思いに強く共感を覚えた当法人がこのプロジェクトに「崇仁すくすくセンター実行委員会」として深く関わっている。

感じました。それと同時に、制作が終わってしまった寂しさも感じました。

しかし、まだまだ終わりません。今年度からは、「すくすくほがらか隊」として活動しています。毎週集まる場は、皆様の生活の当たり前になり、なくてはならない時間になっているようです。「この部分の縫い方みんな考えてようや」「色はこれがええわ」と皆様に話し合いながら、ピクニックマットを制作しています。作品作りに携わりたい、完成するまで元気に過ごしたいという思いが日に日に強くなっているように感じます。

これからは3年前に採取した押し木を、いよいよ地域に地植えする展開となりそうです。

また、「ピクニックマット」に地域の皆様と共に座り、「大きな旗」が空にはためいている姿を眺める。そんな日が近づいています。



# 職員交流会



New Challenge in NOZOMI

## 特養個室化について

利用者様のより快適な住環境を目指して

利用者様がプライバシーの確保が可能な空間で安心して生活をしていただくこと、また様々な感染症についての予防対策のために、2022年10月より多床室の個室化工事が始まり、2023年1月に無事完成しました。工事の前から利用者様・職員共に嬉しさや不安が入り混じっていました。職員としては、正直なところ使い方に慣れるまでは苦勞もあり、またカーテンに慣れている利用者様はドアの開け閉めに戸惑われることもありました。現在では「自分の部屋ができた!」「新しい場所に来たい!」「大切なものはここに入れとく!」と自分だけのプライベート空間を楽しんでいます。ほかにも、壁紙の張替え工事も同時に行われたこともあり「お部屋全体が明るくなった!」「きれいになってよく眠れるようになった!」等のお褒めの言葉を頂いております。



自分の部屋ができました!

ストレスマネジメントの一環として、サービス向上委員会が企画した「第1回職員交流会」。私は委員会に所属しているため、企画側としても、また入職1年目の新人としてもこの日とても楽しみにしていました。コロナ禍からWithコロナの時代になりましたが、職員の方々と親睦を深める機会はほとんどありません。それでも多くの先輩方が業務の中で気にかけてくださり、ありがたいことに楽しく仕事をさせていたっていました。職員交流会では、業務とは離れて、いつもと違う場所で、レクリエーションをしたり、トークテーマに沿ってお話をしたりしました。拠点、部署、役職関係なしのごちゃまぜグループ、普段と違う一面を見ることができ、笑いの絶えない楽しいひとときを過ごしました。

利用者様に安心して過ごしていただく、利用者様一人ひとりの思いを実現する、そんな施設・事業所であるために、職員同士のチームワークは欠かせません。この職員交流会をきっかけに、部署内外関係なく親睦を深める機会が増えたらいいなと思います。気持ち新たに頑張っている、そう思えた素敵な会でした。第2回の開催も計画中です。どうぞお楽しみに!

東九条特別養護老人ホーム  
社会福祉士 高濱 莉菜

**介護  
予防**

# 感染予防の標語を

みなさんに考えていただきました!



感染対策は職員だけでなく利用者様にも協力していただいております。利用者様が考えた標語なら、職員も一緒に楽しみながら感染対策ができるのではないかと思います、この度「手洗い」をテーマに標語を募りました。たくさん応募していただいた中から、感染症対策委員会で賞を決めましたので発表します!



**ピカピカ大賞**

手洗いは いつもみんなの 心がけ

崇仁デイサービスうるおい



**素敵で賞**

手洗いは みんなを笑顔にする 魔法

島原のぞみデイサービス



**とどめさすで賞**

コロナの菌も ウイルスもこの手洗いで とどめさす

東九条のぞみデイサービス



惜しくも  
賞を取れなかった  
標語もたくさん!

- 『おはようさん』きれいな手と手でハイタッチ
- 手洗いは バイクマンの泣きどころ
- ウォシュ・ウォシュ・ウォシュ・ウォシュそおーれ、それ、それ、手洗いだあ



たくさんの標語の中から賞を決めるために、大変盛り上がった委員会になりました。改めて「手洗い」は感染対策の基本だということを確認するとともに、継続の難しさも感じております。標語だけでなく、手洗いのための歌などもあります。それぞれが楽しめる方法で感染予防のために「手洗い」を頑張りましょう!



## 「運動不足解消のために」

東九条のぞみ特別養護老人ホーム  
介護士 原田 滯

大学を卒業し、社会人になってすぐの頃は自宅から出ずにゴロゴロして休日を過ごすことが多かったですが、せっかくの休日なので最近は敢えて予定を入れて家から出るようにしています。

私の運動不足を心配してか、祖母が御朱印帳をプレゼントしてくれたので、月に一度のスローペースですが御朱印を集めにお寺や神社を巡っています。

寺社に詳しいわけでも歴史が特別得意なわけでもないですが、コレクションしていくのが楽しくて続けている趣味の一つです(笑)  
友人や家族とドライブ先でたまたま神社を

発見し、「ちょっと御朱印だけ貰ってきてもいい?」と車を停めてもらうことも。なので、御朱印帳は常に持ち歩いています。

愛犬との散歩も休日の楽しみになっています。私が「さんぽ!」と言うと尻尾を振って走って玄関まで出てきてくれるので散歩のし甲斐があるな〜とニコリしてしまいます。

大学時代はジャズサークルに所属しており、休日返上で練習をしていたのですが、社会人になってからは楽器を触る事も少なくなりました。余裕ができたならまたライブや演奏会にも参加したいな、と思っています。

## 休日の過ごし方 のぞみの園は働きやすい職場!

### 「～ただ今、自転車練習中～」

島原地域包括支援センター 社会福祉士 後藤 幸雄

普段、休日と言っても子供の習い事の送迎や付き添いで1日の休みがほぼ終わる生活をしているのですが、時間を見つけては近くの自然箇所をサイクリングしたりしています。住んでいる木津川市は京都府の南部、奈良県の県境に位置します。少し見渡すと、若草山が見え、1月の若草山の山焼きも見える場所に住んでいます。ここから木津川沿いのサイクリングコースを八幡市の流れ橋まで(約22km)ゆっくりと自転車で走ることもあります。自宅近くの畑でテントウムシや土筆(つく

し)を見つけて春を感じたり、木津川の堤防を渡った山城の上粕(かみこま)地区は、お茶問屋で有名なのでお茶の香りを感じたりします。現在、次男が駒付の自転車から駒無しに挑戦中です。繰り返し転倒して時には泣き出すこともあります。やがて自然とできるようになっていくんだろうと思います。執拗に何度も失敗してもチャレンジする姿は、今の自分にも必要なことかなと子供から教わることがあります。



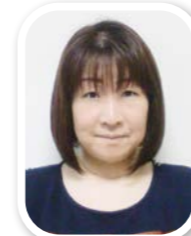
2023(令和5)年度  
東九条のぞみの園  
入職式



### 岡本 博志

東九条のぞみ特別養護老人ホーム

- 【職種】看護師
- 【趣味】野球観戦
- 【一言】毎日楽しくお仕事させてもらっています。よろしくお願いします。



### 石井 純子

東九条のぞみの園 事務部

- 【職種】事務員
- 【趣味】山登り・洋裁
- 【一言】4月から正職員として働かせて頂いています。早く皆さんと仲良くお仕事させて頂けたらと思っています。



### 村上 香倫

東九条のぞみデイサービス

- 【職種】看護師
- 【趣味】美味しい物を食べに行くこと
- 【一言】利用者様の思いに寄り添えるよう関わっていかれたらと思っています。



### サプナ ジャナニー

東九条のぞみの園 事務部

- 【職種】事務員
- 【趣味】料理を作る
- 【一言】新卒で初めての仕事で慣れないこともあると思いますが色々教えてください。よろしくお願いいたします。

## 新人紹介

ひんやりおやつ  
マシュマロ  
アイス



ふわふわで口の中でシュワッと溶ける、素材でどこか懐かしいお菓子「マシュマロ」。  
そのまま食べても美味しいですが、アレンジも多彩です。今回は、夏のおともにピッタリ!!  
マシュマロを使って作るアイスのレシピをご紹介します。

材料は、マシュマロと牛乳の2つのみ。爽やかでさっぱりとしたアイスに大変身します。普通のアイスに比べても低カロリー。とっても簡単なので、ぜひお試しください♪

材料 (2人分)

マシュマロ 30g  
牛乳 100cc

作り方

①: マシュマロ、牛乳を耐熱容器に入れて、ふんわりラップをかける。レンジ(600W)で1分加熱する。

②: マシュマロが溶けるまで泡だて器で混ぜる。溶け残りがあれば、さらにレンジで加熱。

③: 粗熱がとれたら、冷凍庫へ入れる。1時間ほどしたら、一度全体を良く混ぜる。さらに1時間ほど冷凍庫にいたら、全体が固まれば良くかき混ぜる。盛り付けてできあがり。

アレンジ

写真は、いちごとチョコレートを加えました。他にも、インスタントコーヒーや抹茶などを使ってさまざまなフレーバーのアイスを作ることができます。オリジナルアイス作りに挑戦してみてください!!

管理栄養士 山岡 舞由



就任のご挨拶  
東九条のぞみの園  
管理部部长 恩田 有生  
おんだ ゆうき

この1月より、管理部部长を拝命しました恩田有生と申します。皆様と共に、地域に根差した高齢福祉事業や地域活動等にかかわれる機会をいただき、大変光栄に思います。

私は26才から京都に移住し、京都に来てから高齢福祉の仕事に就き、他法人ではありますが、特養シヨート、デイ、ケアハウスで働いてまいりました。

これだけ長く勤められているのも、直接介護、支援の現場にやりがいや、楽しさを実感できたためですが、現在は自分が何かをするということよりも、ともに働く職員一人ひとりが願う利用者様へのケアや、家族様への相談支援の手助けができる時に充実感を得るようになってきました。

このような仕事への想いを、私の先輩である小笠原施設長に話していた時に、「じゃあ、のぞみの園でやってみないか」という言葉をかけていただきました。この言葉がきっかけとなり、新しいステージでの挑戦として、のぞみの園の輪に加えていただきました。

のぞみの園のホームページには、「この町で、一人ひとりののぞみと向き合う」とあります。私は、この言葉の持つ意味を大切にして、皆様としっかりと向き合うことができる組織づくり、人材育成に取り組んでまいります。